

与論町立与論小学校 公開研究会

研究主題

自分の思いや考えを深め、生き生きと表現する児童の育成
～正しく読み、豊かに書くための指導を通して～

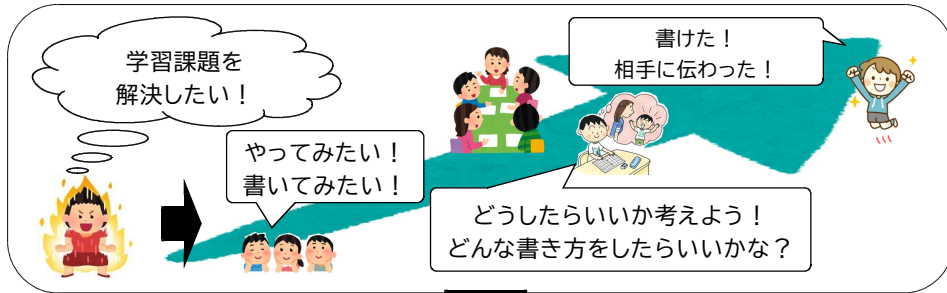
目指す児童像

- 書かれている内容を正しく読んで、自分の思いや考えをもてる児童
- 自分の思いや考えを友達と交流して深めたり、広げたりすることができる児童
- 目的意識や相手意識をもって主体的に書いて表現することができる児童

研究仮説

【仮説1】

単元構成や学習内容を工夫し、児童自らが必然性を感じる課題設定を行うならば、児童は課題の解決を目指して主体的に学びに向かうだろう。



(1) 単元構成の工夫

(2) 解決する必然性のある課題設定

教材への興味を高め、学習意欲の持続を図り、児童が主体的に学びへ向かうために、単元の導入段階である「つかむ・見通す」の指導の工夫を図った。	過程	時数	主な学習活動	教師の具体的な働きかけ 仮説との関連：仮1 仮2
	つかむ・見通す	1	1 身近な植物について知っていることや見た触った経験について話し合う。 2 たんぽぽの挿絵を並べ替える。 3 学習の進め方を知り、単元のめあてを立てる。	○ 1年生の時に育てた「アサガオ」の様子を思い出して、絵を並べ替えることで順序に着目させるようにする。 ○ なぜ、このように並べたのか理由を考えさせることで、順序に気を付けながら読むことの大切さに気付かせるようにする。 ○ 目的意識・相手意識を明確にもち、教師と共に学習計画を立て、見通しをもつことができるようにする。 【仮1】 どのように書けば、一年生につわる「しょうかいカード」が書けるだろうか。 【2年生 「たんぽぽのちえ」 指導計画】

(3) 協働学習の充実

(4) 振り返りの工夫

学習のねらいを達成するため、指導者が意図をもってペア・グループ・一斉と学習形態を変え、児童の学びが充実するように工夫した。	【6年生 「やまなし」】 【4年生 「ごんぎつね」】	本時・単元のめあてを意識させながら振り返りを行わせるようにした。 【5年生 「見立てる」言葉の意味が分かること」学習計画表】
---	-------------------------------	---

【仮説2】

「書く」活動において、段階的で具体的な指導の手立てを工夫するならば、情報を正しく読む力・伝えるように書き表す力を身に付けるだろう。



(1) ポイントシートの作成と活用

(2) 付けたい力の系統表

書く際のポイントをまとめたプリントを単元別に作成し、活用させた。 【5年生 「見立てる」言葉の意味が分かること」ポイントシート】	発達段階を考慮した指導を行うため、「付けたい力の系統表」を作成し、活用した。 【1年生 「付けたい力の系統表」】
---	---

(3) 新聞の活用・条件付き作文

(4) 語彙力の育成

新聞社の「新聞活用ワークシート」を参考にして作成し、条件付き作文を書かせた。 【新聞活用ワークシート】	児童の語彙力向上のために「今週の言葉」、「国語辞典の活用」、「読書活動の充実」の取組を行った。 【「今週の言葉」の取組】
--	---

公開研究会の様子

全体会Ⅰ

公開授業・学年別分科会

全体会Ⅱ



【開会のあいさつ】
与論町教育委員会
町岡教育長



【1年生公開授業】
どうぶつの赤ちゃん



【3年生公開授業】
モチモチの木



【6年生公開授業】
メディアと人間社会
大切な人と深くつながるために



【指導講話】
大島教育事務所
山指導主事兼指導係長



【研究発表】
与論小学校 清藤教諭



【1年生分科会】



【3年生分科会】



【6年生分科会】



【開会のあいさつ】
与論小学校 岩元校長

参加された先生方より

- 「自分の考えを文章にまとめる」というゴールに向かって、前時までの内容が次時へとつながる単元計画が立てられており、とても参考になった。
- 導入で課題を解決しようとする意欲をもたせたことで、書く活動ではほぼ全員が最後まで書くことができていた。
- 国語科において大切な「相手意識・目的意識」、「系統性」の2つのポイントについて改めて考えることができた。
- 児童の生き生きとした姿を見ることができた。担任の先生が児童のつぶやきを拾ったり、興味・関心を引き出したりするような工夫がなされていた。